海岸の国際環境認証「ブルーフラッグ」

～湘南海岸での日本初の認証取得を目指して～

NPO法人日本景観フォーラム
第42回景観セミナー

2014年5月14日

NPO法人　湘南ビジョン研究所　理事長　片山清宏

内容

１　私の思い

２　湘南の景観づくり

３　湘南都市構想2022

４　ブルーフラッグ

1　私の思い

2 国保年金課
国保年金課
総合受付
Reception
国保年金課 受付
東日本大震災

私の志

地域主権社会の実現

～ 地域のリーダーシップで日本を変える ～

松下幸之助

海を活かしたまちづくり

2　湘南の景観づくり

神奈川県の景観づくり

県景観条例に基づく
景観基本方針

湘南景観域

- 相模湾の砂浜海岸と、
  その背後の斜面緑地

- 江戸時代の東海道
  （現在も鉄道や道路）

- 明治中期より別荘地・保養地（閑静な住宅街）

- 湘南海岸のマリンスポーツ

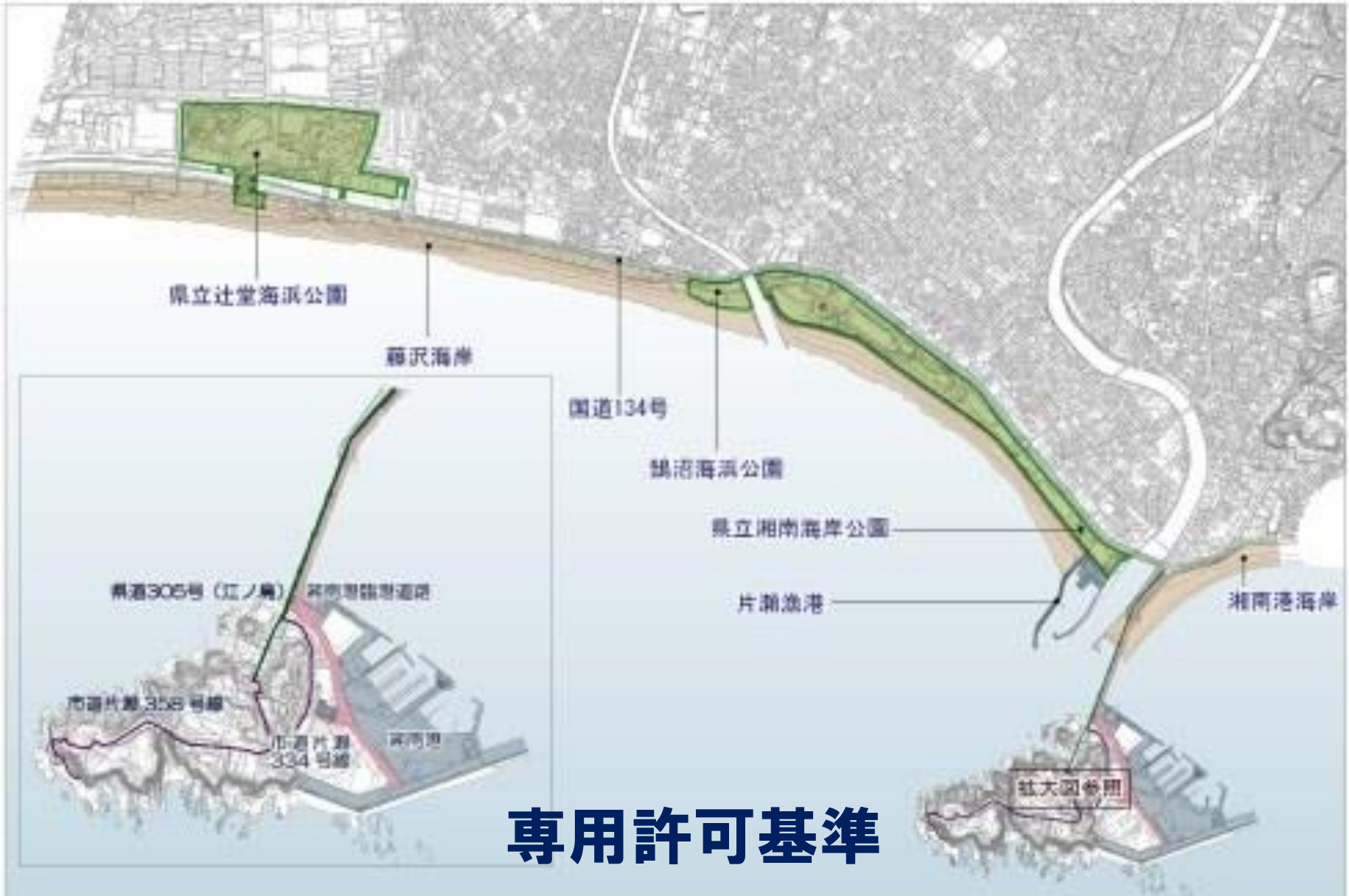
なぎさ軸 広域景観構想（2009年）

- 美しく風格のある
  世界に開かれた誇れる
  景観を保全創造

- 神奈川県、沿岸14市町

- 景観行政団体である「市町」が、
  公共施設管理者である「県」と、
  景観法に基づく**景観重要公共施設**の
  指定に係わる協議を行う

景観重要公共施設（2013年4月～）



専用許可基準

片瀬漁港

湘南港

県立湘南海岸公園

国道134号

海岸

湘南邸園文化再生

明治期の別荘・保養地
文化の発信・蓄積

ふじさわ景観ベストテン

- 市制70周年
- 市内外690件応募
- 審査会で選考

「史跡名勝」江の島

隆起海蝕台地の特徴ある地形を持ち、古くから続く信仰の霊地である江の島。相模湾各地から眺められる江の島のシルエットは「湘南のシンボル」として親しまれ、また島内から一望する海岸線や富士は必見。歴史と景勝の地として「史跡名勝」に指定されています。また、近年は展望灯台と花火に加えて、参道やコッキング苑の整備、歳末のライトアップ等のまちづくりが行われ、多くの観光客で賑わっています。

湘南海岸とR134

古くから日本を代表する海水浴場が開け、数々の歌やドラマの舞台となった日本を代表する海岸。サーフィンを始めさまざまなマリンスポーツを一年中楽しめます。また、公園としても整備された湘南海岸からは、富士を一望するパノラマオーシャンビューを堪能することができます。R134沿道は黒松の防砂林と、自然素材や明るい色調のモダンな建物が建ち並び、湘南らしいリゾート景観が続きます。

松と玉石垣のまちなみ
鵠沼

大正期より別荘地として開発された鵠沼の住宅地は、黒松を始めとする樹齢を重ねた庭木群と玉石垣の沿道景観が風格ある邸宅の佇まいを残しています。良好な住環境を守るための市民活動も活発で、景観まちづくりに向けた取組みが拡がっています。

遊行寺と東海道藤沢宿

時宗総本山である遊行寺は、巨大な黒門と大銀杏、本堂や鐘楼の佇まいが名刹の風格を伝えています。また、黒門前から白旗神社にかけては、少なくはなったものの、東海道藤沢宿の面影を残す土蔵や商家建築、寺社が点在し、現在の都市藤沢の発祥の地であることを伝えています。

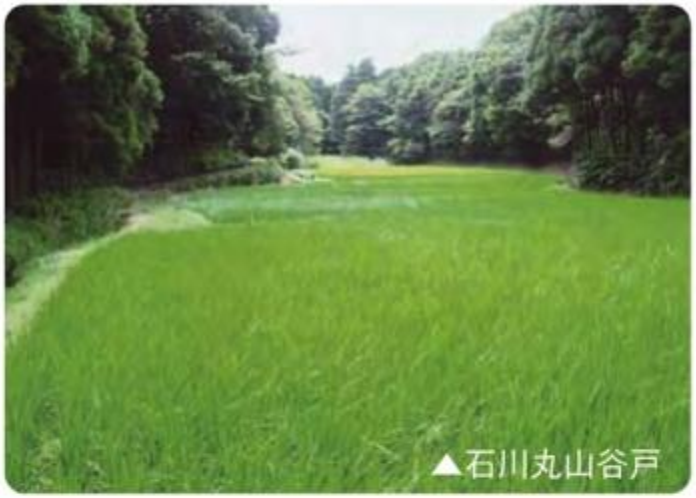
水と緑のサイクリングロード
境　川

藤沢の東部を南北に貫く「水と緑の景観軸」の一つである境川。善行以北は、雄大な田園風景が広がり、川沿いに整備されたサイクリングロードは多くのツーリング客で賑わっています。市街地の中を流れる南部は、要所にある桜や黒松の木立が散策の眼を楽しませています。

水と緑のプロムナード
引地川

「水と緑のプロムナード」として藤沢市の中央部を南北に貫く引地川。沿川は多くの緑地で囲まれ、日常的なレクリエーション空間として親しまれています。また、中部の広大な田園地帯は親水公園、大庭遊水池、河岸段丘の斜面緑地が一体となって生態系の豊かな藤沢の原風景を形成しています。

原風景の残る
三大谷戸


▲石川丸山谷戸

▲川名清水谷戸

遠藤笹窪谷戸▼

川名清水谷戸は、四季折々の彩りを楽しめる新林公園とともに川名緑地を形成する藤沢駅至近の豊かな自然です。
石川丸山谷戸は、手をかけて維持されている棚田を豊かな自然が取り囲み、見事な里山の景観を残しています。
遠藤笹窪谷戸は、多様な生態系が息づく貴重な森林が今なお残り、竹林は地域交流の場としても活用されています。

中央けやき通り
湘南ライフタウン

およそ5kmにわたって続くけやき並木は、昭和40年代より計画的にまちづくりが進められた湘南ライフタウンを南北に貫くメインストリート。春の新緑、夏の木陰、秋の紅葉、冬の箒立ちの力強い姿など、四季折々の変化が湘南ライフタウンの生活のリズムを刻んでいます。

あじさいと彼岸花の小出川

6月は上流部およそ500mの間に小出川の両岸に植栽されたあじさいが満開となり、9月は遠藤から打戻を経て寒川に至るおよそ3kmの区間に彼岸花の“赤い帯”が続きます。
見頃の時期にはあじさいまつりや彼岸花まつりが開催され、多くの観光客が訪れます。

江ノ電の走る風景

藤沢駅から鵠沼を走り鎌倉へと抜ける江ノ電は、開業100余年を迎え、すっかりわがまち藤沢の走るシンボルとなりました。夕日を浴びて境川の鉄橋を渡る光景、祭りで賑わう龍口寺前の急カーブや小さな踏切を通り過ぎる姿は、市民の心に刻まれる藤沢らしい情景の一つです。

NPO法人
湘南ビジョン研究所

3　湘南都構想2022

湘南都市構想2022

10年後のまちづくりビジョンを
市民自らの手でつくる

3つの特長

市民主体

湘南らしさ

広域連携

湘南の海を考えるミニフォーラム

AL HA
第９回 湘南の海を考えるミニフォーラム

第1回湘南都市構想2022策定会議
キック オフミーティング

第1回湘南都市構想2022策定会議
キック オフミーティング

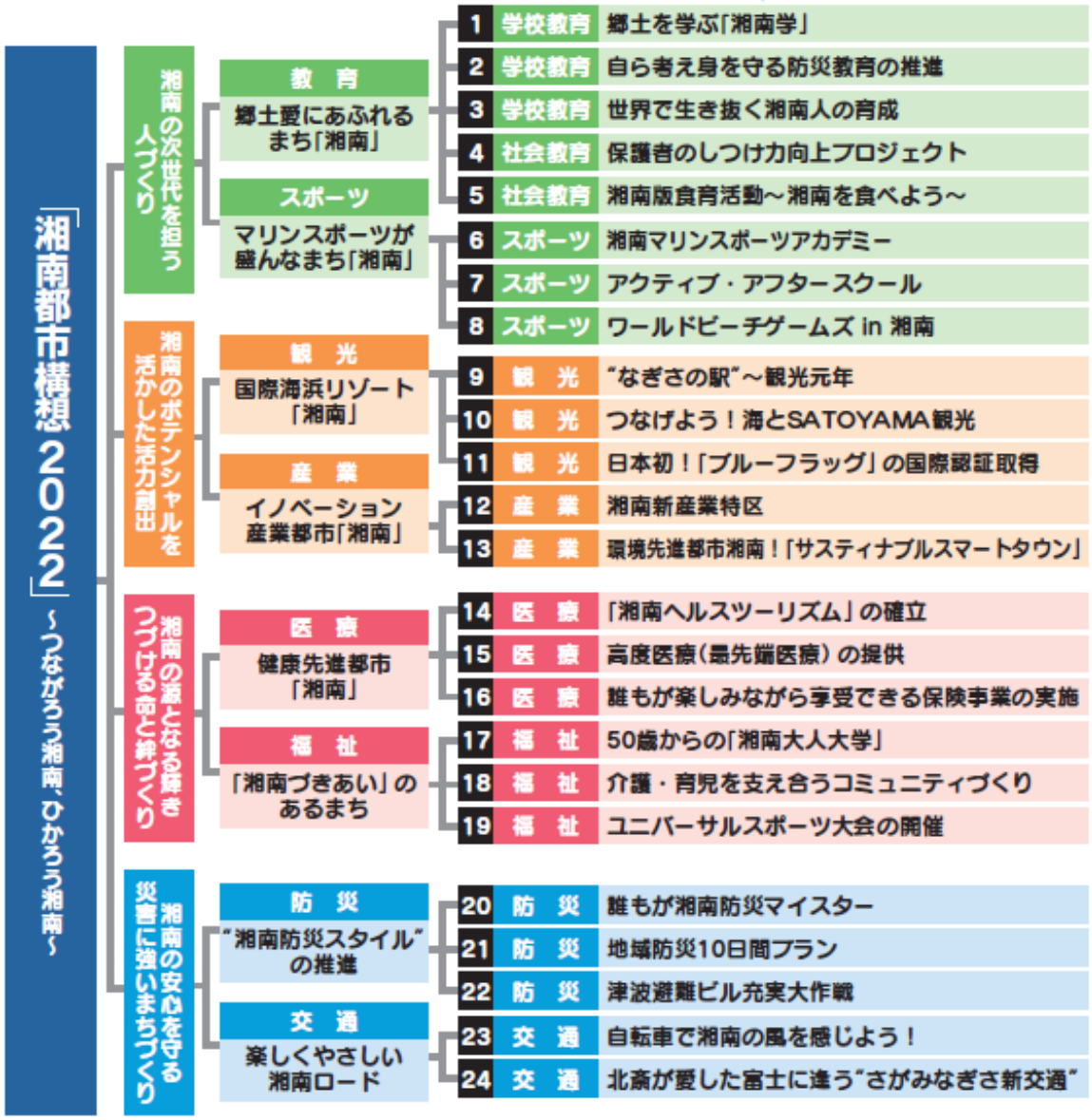
第1回湘南都市構想2022策定会議
キック オフミーティング

策定会議

湘南9市町の広域連携

湘南9市町
寒川町
藤沢市
平塚市
鎌倉市
逗子市
茅ヶ崎市
大磯町
二宮町
葉山町
東海道新幹線
相模線
小田急線
東海道線
横須賀線
江ノ電
129
1
467
134
位置図

24本のプロジェクト


「湘南都市構想2022」
～つながろう湘南、ひかろう湘南～
湘南の次世代を担う人づくり
教育
郷土愛にあふれるまち「湘南」
スポーツ
マリンスポーツが盛んなまち「湘南」
湘南のポテンシャルを活かした活力創出
観光
国際海浜リゾート「湘南」
産業
イノベーション産業都市「湘南」
湘南の源となる輝きつづける命と絆づくり
医療
健康先進都市「湘南」
福祉
「湘南づきあい」のあるまち
湘南の安心を守る災害に強いまちづくり
防災
"湘南防災スタイル"の推進
交通
楽しくやさしい湘南ロード
1 学校教育 郷土を学ぶ「湘南学」
2 学校教育 自ら考え身を守る防災教育の推進
3 学校教育 世界で生き抜く湘南人の育成
4 社会教育 保護者のしつけ力向上プロジェクト
5 社会教育 湘南版食育活動～湘南を食べよう～
6 スポーツ 湘南マリンスポーツアカデミー
7 スポーツ アクティブ・アフタースクール
8 スポーツ ワールドビーチゲームズ in 湘南
9 観光 "なぎさの駅"～観光元年
10 観光 つなげよう！海とSATOYAMA観光
11 観光 日本初！「ブルーフラッグ」の国際認証取得
12 産業 湘南新産業特区
13 産業 環境先進都市湘南！「サスティナブルスマートタウン」
14 医療 「湘南ヘルスツーリズム」の確立
15 医療 高度医療（最先端医療）の提供
16 医療 誰もが楽しみながら享受できる保険事業の実施
17 福祉 50歳からの「湘南大人大学」
18 福祉 介護・育児を支え合うコミュニティづくり
19 福祉 ユニバーサルスポーツ大会の開催
20 防災 誰もが湘南防災マイスター
21 防災 地域防災10日間プラン
22 防災 津波避難ビル充実大作戦
23 交通 自転車で湘南の風を感じよう！
24 交通 北斎が愛した富士に逢う"さがみなぎさ新交通"

なぎさ構想

24のプロジェクトを網羅する取組

湘南の広域的課題を解決する

観光 産業	湘南の新鮮な魚介類、農産物の直売所 おみやげ店、観光名所（通年観光）
防災 交通	津波避難タワー、ライフセーバーの拠点 サイクリングロードのステーション、シーバスの駅
教育 スポーツ	海の学校（環境教育） 湘南マリンスポーツアカデミー
医療 福祉	ヘルスツーリズム 災害時救急医療専用道路

4　ブルーフラッグ

理想の湘南海岸

環境×経済×防災は、利益相反

▼

各団体がバラバラに活動

▼

協力し活動できる環境が必要

▼

一つの目標が必要！

「海岸ゴミ問題」から「地域政策」へ

ブルーフラッグ

藤沢の海岸から日本初の取得目指す！

FEE Japan 国際環境教育基金

認証基準（30項目）

水質

〇大腸菌等に関する水質基準の定期調査
〇産業排水や下水の排出規制
〇汚染に対処する地域緊急計画策定
〇海草や他の植物の堆積や腐敗対策

環境教育と情報

〇ビーチの安全上の警告体制の整備
〇希少保護対象動植物保護の事前協議
〇海岸環境に関する認識向上教育活動
〇関係者への海岸環境の情報提供

環境マネジメント

〇海岸地域計画や環境に関する法律順守
〇遊泳、マリンスポーツ等、海岸利用のニーズの調整及びゾーニング
〇ビーチへのアクセスのバリアフリー化
〇トイレ設備の設置及び管理
〇ごみ箱の設置及び管理
〇適切なビーチの清掃
〇持続可能な方法での交通手段

安全性とサービス

〇夏期シーズン中のライフガードの配置及び適切な緊急時対策
〇ビーチ内の工事現場や廃屋への進入規制。建造物の景観配慮
〇救急施設の設置とその位置の明示
〇公害の安全性に関するリスクに対処するための緊急対策計画の整備
〇ビーチ地域のパトロール

景観に関わる基準

基準24：建物とビーチの設備が適切に維持管理されている

〇BF対象ビーチにある建物や建造物の外観は全体の景観に配慮されること。周辺環境と調和し、建築基準を守り、周辺環境等と調和されること。

〇当該設備には、遊び場や桟橋などの他の基準で扱われていない施設やサービスを含む。当該設備は安全に使用されるよう定期的に保守点検されること。その際には、設備の清潔性、設備の劣化状況、設備や建物における塗料等の材料による環境影響、設備の故障のリスク等についても考慮されること。修理される場合には可能な限り環境に優しい製品を使用すること。

〇建設作業等を行う際にはビーチ利用者が建設現場に入れないよう塀で囲うこと。BFシーズン中に建設作業を行う場合、当該期間中を通じてBF基準が満たされること。また、当該建設がBF対象ビーチの利用者に影響を与えないこと。

効果

- 目標の明確化、地域の一体感
- 観光客の増加、地域活性化
- 郷土愛の醸成、人材育成
- 国の規制の明確化

KAISO

水中清掃中
Japan Sportfishing Association
財団法人 日本釣振興会
江の島海底清掃プロジェクト

江ノ島・湘南港で海底清掃

日釣振や海をつくる会など参画

海底から引き上げたエギや仕掛け類などを分別するボランティア

釣りのメッカとして人気の高い神奈川県江ノ島の湘南港で四月二十一日（土）と二十二日（日）の両日、「江ノ島海底清掃プロジェクト」が開催され、根掛かりした仕掛け類、エギやタコテンヤなど多くの釣具を含む海底に堆積したゴミ約1450㎏が収集された。同プロジェクトは、湘南海岸でビーチクリーン活動などを実施している湘南ビジョン研究会（片山清宏代表）が主催、潮底・海底清掃事業を進めている（公財）日本釣具検査協会と海をつくる会、それにNPO法人水環境保全協会の共催により実現。二日間で総勢百四十二名が参加した。

◇日釣振の水中清掃、通算149回目に

釣りをするうえで、ゴミを出さないようにと心掛けていても、根掛かりしてラインが切れ、仕掛けやオモリなどが海底や潮底にゴミとして残ってしまう――。

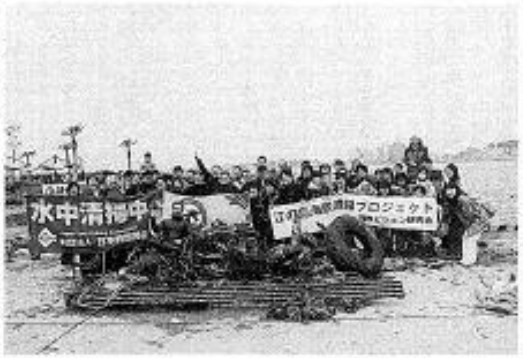
そのため水辺環境だけを見てゴミの有無は語れないだろう。このような水中に堆積したゴミは、誰かが人の手で丁寧に取り除かなくては排除することはできない。

そこで、日釣振はボランティアダイバーの協力を得て、海底や潮底のゴミを清掃する活動を2007年から着手し七年目になる。今年度は四月十四日の静岡県静浦港を皮切りに、四月十五日に静岡県八幡野港で実施したのに続き、今回初めて江ノ島・湘南港で水中清掃を行った。同港を含め通算で百四十八回目と若四十九回目の水中清掃になる。

◇環境意識の高い地元住民

参加者は二十一日がダイバー二十七名、陸上担当五十七名、二十二日はダイバー二十六名、陸上担当三十二名と、二日間で総勢百四十二名により清掃を展開した。

陸上手伝いのボランティアは地元の住民がほとんどで、「地元のフリーペーパーでこの日の催しを知り、自分にも何かできないかと思い参加しました」という主婦からOLまで様々な人がいた。地元FM局などでもボランティア募集の呼びかけを行い、参加が増えたようだ。地域住民の海に対する環境意識の高さが感じられた。ただ、残念なのは釣り人のボランティア参加がなかったことだろう。



江の島海底清掃プロジェクトの参加者

ダイバーが海底に堆積したゴミを回収

◇2日間でエギは300個を回収

清掃を行ったのは湘南港大堤防の港内側の水深約5m付近。ゴミの多くは岸壁に近い場所に集中し、海底に堆積したロープにライン、仕掛け、ルアー、エギ、天秤などが絡まり団子状態になったものがいくつもあった。

ひとつのゴミが次の根掛かりを発生させ、次第に大きなゴミになっていったことも想像される。

また、ビニールバケツや釣竿、タコテンヤ、コマセカゴなどの釣具も大量に回収された。大型ゴミでは船外機やタイヤ、

河川の水質調査

放射線測定

環境教育

ワールドオーシャンズデイ

メディアの活用

鵠沼海岸チャンネル

フリーペーパー「読む湘南」

将来展望

将来展望

① 日本をリードする地域づくり

「湘南都市構想2022」を実現

② 日本全国への波及

成功モデルで、一点突破、全面展開

③ 地域から日本を再生！

「地域主権社会の実現」

湘南海岸の美しい景観を
次世代へ

ご清聴ありがとうございました。